No.548 2005 6/15 毎月1・15日発行

広報 きょうたなべ

◀京田辺市ホームページ▶ http://www.kyotanabe.jp/

発行所 京都府京田辺市 〒610-0393 京都府京田辺市田辺80 TEL(0774)63-1122（代表）FAX(0774)63-4781

主な記事

市営住宅の入居者を募集 2面
臨時職員登録者を募集します 2面
日本脳炎接種受診票の送付中止 2面
思春期子育てセミナー開きます 4面
せせらぎスポーツフェスタ 4面

常磐苑で健康づくり

「高齢者元気はつらつ教室」開講

「一人で体操をしても続かないので、みんなで一緒にできて楽しいです」「期間の短い教室はあるが、20回という長いものはなかなかないのでいいと思います」と参加者の声。

「高齢者元気はつらつ教室」が6月2日から老人福祉センター常磐苑で始まりました（＝写真）。

これは、高齢化が進むなかで、高齢者の生活習慣にスポーツを取り入れ、日常化・継続化することで健康維持と健康づくりを進めようと、教育委員会が今年度から始めた全20回の教室。

市の体育指導委員の指導のもと、参加した約30人のみなさんは体力テストに挑戦。10メートル全力歩行、最大1歩幅、踏み台昇降など5種目の記録を測りました。

これから家庭でできる体操やニュースポーツに取り組み、最後の20回目で再び体力テストを行い、どれだけ体力がついたかを測る予定です。

行政改革推進委員会を設置

市長 聖域なき改革に全力

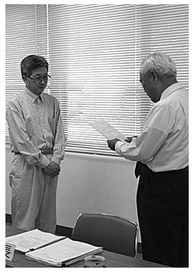
市は、新たな行政改革に取り組むにあたり、地方分権の時代にふさわしい行財政のあり方を検討する組織として、有識者など8人からなる行政改革推進委員会を設置。6月3日に初会合を開きました。

市では、平成8年12月に第2次行政改革大綱をつくり、電算化による業務の効率化や公的団体への施設管理委託など、事務の簡素化・適正化に努めてきました。

しかし、以後8年余りが過ぎ、少子高齢社会の到来、本格的な地方分権の進展や市民意識の変化など、地方自治体を取り巻く情勢は急激に変化しました。また、長引く不況や労働力人口の減少で税収は落ち込み、市の財政状況は一層深刻になっています。

このような中で、現在策定中の第3次京田辺市総合計画の各施策を着実に進め、また、多様化する市民ニーズにこたえ魅力あるまちづくりを推進していくためには、新たな行政運営の仕組みづくりなどの改革を進めていく必要があることから、行政改革推進委員会を設けて議論していただくこととしました。

6月3日に開かれた第1回の会合では、久村哲市長が「聖域なき改革に向け努力してまいりたい」とあいさつした後、同委員会の山谷清志会長（同志社大学教授）へ市の行政改革についての諮問が行われました。



久村市長から諮問書を手渡される山谷会長㊧（6月3日、保健センター）

今後、同委員会では、新たな自治体経営の仕組みづくりに向けた「行政経営改革」や危機的な財政状況から脱し持続可能な財政構造づくりに向けた「財政健全化」などについて議論をし、今年11月をめどに提言をいただく予定です。

問合せ先＝政策推進課（☎64・1310）

市の人口

平成17年6月1日現在 （ ）は前月との比較

男 29,492人(+24)
女 30,767人(+30)
合計 60,259人(+54)
世帯数 22,579世帯（+28）

8月6日から利用できます

高架駅舎が完成

近鉄三山木駅

近畿日本鉄道㈱が建設を進めていた、「三山木駅」の奈良方面行きの高架線と新しい高架駅舎が完成し、8月6日㈯の始発電車から利用を始めます。これにより、同駅上下線とも高架線・高架駅舎に生まれ変わります。

これは、市が同駅周辺で行っている「三山木地区特定土地区画整理事業」に伴い建設を進めていたもの。今回の三山木駅の高架化により、近鉄京都・JR学研都市両線の高架化工事が完成。今後、三山木駅の旧駅舎・線路などの撤去を行い、これにより踏切による交通渋滞が解消されます。

問合せ先＝三山木地区区画整理室（☎65・5540）

普賢寺小・幼が一緒に

田植えで交流

晴天のもと、6月8日に普賢寺幼稚園と普賢寺小学校が合同で、田植え体験を近くの水田で行いました（＝写真）。

32人の園児と保護者・19人の5年生が一緒に田植えに挑戦。地元の人たちからアドバイスも受け、「だんだん慣れてきた」「楽しい」と歓声をあげながら苗を植え付けました。10月末ごろの収穫を楽しみに、年末にもちつき大会をしてみんなで食べるそうです。

R100 PRINTED WITH SOY INK 広報きょうたなべは、古紙配合率100%再生紙と大豆油インクを使用しています

市営住宅 入居者募集します

20日から案内書を配布

市は、市営住宅の入居希望者を募集します。

団地名・募集戸数・家賃など＝下表のとおり

入居時期＝9月上旬

応募資格＝▼次の①～④の要件をすべて満たす人▼次の①～③の要件を満たす50歳以上の単身者

①市内に在住・通勤し、現在住宅に困っていることが明らかな人

②市内に在住する連帯保証人が2人いること

③基準収入額に該当する人

④同居する親族が同居しようとする親族（婚約者を含みます）がいること

申込方法＝施設用地課に備え付けの入居申込書に必要事項を書いて、受付会場へ申し込んでください

募集案内書交付期間＝6月20日(月)～7月15日(金)

募集案内書交付場所＝施設用地課

入居申込書受付期間＝7月12日(火)～15日(金)

入居申込書受付時間＝午前9時～正午と午後1時～5時

入居申込受付会場＝コミュニティホール

その他＝申し込みは1世帯につき1戸です

くわしくは、施設用地課（☎64・1342）へお問い合わせください。

入居募集する市営団地

団地名	建設年度／部屋タイプ	募集戸数	家賃
興戸団地第1期	平成4年度 3LDK	1	①25,900円～42,900円 ②25,900円～53,400円
興戸団地第2期	平成6年度 3LDK	2	①30,200円～49,900円 ②30,200円～66,200円
一休ケ丘団地第1期	平成10年度 2LDK	1	①25,600円～42,400円 ②25,600円～56,200円
南山団地	昭和47年度 2DK	1	①16,400円～27,200円 ②16,400円～36,100円
西羅団地	昭和48年度 2K	1	①11,900円～19,800円 ②11,900円～21,900円
	昭和48年度 3DK	1	①19,200円～31,800円 ②19,200円～42,200円
谷ノ上団地	昭和50年度 3DK	1	①19,300円～31,900円 ②19,300円～42,400円
ことぶき団地	昭和54年度 2K	1	① 7,000円～11,600円 ② 7,000円～15,300円
谷垣内団地	平成5年度 3LDK	1	①25,100円～41,500円 ②25,100円～55,100円

・住戸申し込みは、1団地のうちの1住戸のみを限度とし、他の団地・住戸との併用はできません。
・家賃は収入によって変わります。家賃の②は親量階層（障害者世帯・高齢世帯など）です。くわしくは、募集案内書をご覧ください。

22日になやみごと心配ごとの相談会

市と社会福祉協議会は、「なやみごと・心配ごと相談」を開きます。問題解決の糸口をつかんでいただくため、どんなことでもお気軽にご相談ください。人権擁護委員・行政相談委員・ふれあい福祉相談委員がお答えします。相談は無料で、秘密は固く守ります。

日時＝6月22日(水)午前9時30分～11時30分と午後1時30分～4時

場所＝北部住民センター

問合せ先＝▼人権啓発課（☎62・4343）▼社会福祉協議会（☎62・5447）

7月2日に救命講習会

消防署は、人工呼吸・心臓マッサージの実技を中心とした普通救命講習会を開きます。

日時＝7月2日(土)午前9時～正午

場所＝消防署北部分署

定員＝10人

参加費＝無料

申込方法＝開催日の前日までに電話または消防署・同署北部分署に備え付けの申込用紙に必要事項を書いて申し込んでください

申込・問合せ先＝▼消防署（☎63・1125）▼同署北部分署（☎65・0119）

実技中心の講習会ですので、動きやすい服装で参加してください。

地域での積極的な活動を補助します

活力と潤いのある豊かな地域社会をつくろうと、市は積極的に地域活動を行う団体に「ふるさと活性化推進事業補助金」を交付しています。

補助対象団体＝経済・産業・文化・観光などの活動を通じて広く地域振興と活性化の推進に寄与した、おおむね10人以上の地域住民でつくる組織

補助金額＝本市予算の範囲内で、申請額の2分の1以内。なお、ほかの制度で補助などを受けている時は、対象にはなりません

申込方法＝広報広聴課に備え付けの申請書に必要事項を書いて申請してください

申込・問合せ先＝広報広聴課（☎64・1320）

お詫びと訂正

広報きょうたなべ6月1日号の「市議会臨時会」関連の記事の中で、南部登志子議員（無所属）とあるのは、（無会派）の誤りでした。お詫びして訂正します。

なやみごと（人権・行政）相談

時と場所

毎月 第2水曜日（市役所会議室または中央公民館会議室）

第4水曜日（北部住民センターまたは三山木福祉会館）

いずれも午後1時30分～4時

祝日はありません

費用は無料で、秘密は固く守ります。お気軽にご利用ください。

問合せ先＝人権啓発課（☎62-4343）

保育士と給食調理師 登録者を募集

臨時職員

市は、臨時的任用職員（臨時・アルバイト職員）の登録者を追加募集します。

募集職種・応募資格＝▼保育士・保育士証を有する人▼給食調理師（保育所勤務）・調理師免許を有する人

ただし、いずれも地方公務員法第16条各号のいずれかに該当する人は、応募できません

採用＝本市臨時的任用職員登録者名簿（有効期間は平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）に登載し、職員に短期的な欠員（産休など）が生じた時に、名簿登載者の中から選考します

申込方法＝職員課に備え付けまたは、本市ホームページ（http://www.kyotanabe.jp/）からダウンロードした申込書に必要事項を書いて、撮影6カ月以内の写真（正面・脱帽・上半身・縦6㌢×横5㌢）を貼り、必要書類（保育士は登録証、調理師は免許証）の写しを添えて、同課へ本人が持参して提出してください。郵送での申し込みは受け付けません。また、提出書類は一切返却しません

申込受付時間＝午前8時30分～正午と午後1時～5時。ただし、土・日曜日、祝日を除きます

問合せ先＝職員課（☎64・1324）

市議会 社会福祉協議会

夏期くらしの資金 7月4日から受付

申込資格＝本市に住民登録をし、1年以上住んでいる世帯主で、暮らしに必要な生活資金・療養資金などが一時的に必要な人。ただし、夏期・歳末くらしの資金の返済が済んでいない人や、市の貸付金（生活更生資金など）や公的扶助（生活保護）を現在受けている人は除きます

受付期間＝7月4日(月)～8日(金)

受付時間＝午前9時～正午と午後1時～4時

受付場所＝社会福祉協議会（社会福祉センター内）

貸付金額（1世帯）＝10万円以内

申込に必要なもの＝実印

くわしくは、社会福祉協議会（☎62・2222）へお問い合わせください。

「すくすくこどもの安全」

7月2日 ワークショップで考えよう

ボランティア連絡協議会は、府内の学校などで暴力防止教育を行う「きようとCAP」を招き、子どもたちの安全を守るためのワークショップ（後援＝市など）を開きます。

子どもたちに何かが起こった時にボランティアを含めた大人たちは、どのように対応するといいのか、また、何を基本として取り組むのかを考えてもらうワークショップです。

みなさんの参加をお待ちしています。

日時＝7月2日(土)午後1時30分～3時30分

場所＝社会福祉センター

テーマ＝「子どもたちとCAP（キャップ）」

生駒山でサマーキャンプ 英語を通して交流します

特定非営利活動法人けいはんな文化学術協会は、国際子どもサマーキャンプ（後援＝市など）を開きます。

これは、留学生などと一緒に英語を通して、スポーツや音楽・理科実験など多彩なプログラムを楽しむものです。

期間＝7月25日(月)～29日(金)の4泊5日

対象＝小学校3～6年生の男女各12人（先着順）

参加費＝4万円

申込方法＝社会教育課に備え付けの申込用紙に必要事項を書いて、ファクスで申し込んでください

しめきり＝7月10日(日)

申込・問合せ先＝特定非営利活動法人けいはんな文化学術協会（☎、FAX95・5110）

行き先＝生駒山麓ふれあいセンター（奈良県生駒市）

ひだまりの会で小物作りします

日時＝6月28日(火)午後1時20分～3時

場所＝社会福祉センター

対象＝市内の高齢者

内容＝ボランティアが企画した、生乳パックで小物作りを楽しみます

参加費＝無料

申込・問合せ先＝社会福祉協議会（☎62・2222）

要約筆記入門 始めませんか

「要約筆記」とは、聴覚に障害を持つ人に、パソコンなどを使って音声情報を文字にして伝える通訳のことです。難聴者や中途失聴者は手話を使える人が少なく、「要約筆記」は重要なコミュニケーションの手段です。内容をわかりやすくまとめて書く方法など技術の初歩を学ぶ講座です。

開催日＝7月7日～8月11日の毎週木曜日（全6回）

時間＝午前10時～正午

場所＝社会福祉センター

講師＝要約筆記ボランティア「たけのこ」

定員＝25人

参加費＝無料

問合せ先＝社会福祉協議会（☎62・2222、FAX65・4962）

27日に介護講座

夏場の脱水や熱中症の予防対策など、日ごろの介護や今後の知識に役立てみませんか。

日時＝6月27日(月)午後1時30分～3時

場所＝社会福祉センター

テーマ＝高齢者と熱中症予防・快適な夏を過ごすために～

講師＝府立医科大学教授の岡山寧子さん

申込・問合せ先＝社会福祉協議会（☎62・2222）

図書館だより

中央図書館＝☎65－2500

新しい本の紹介

「漢方は女性の健康をたすける」
天野恵子・花輪壽彦／編
岩波書店／発行

女性の多くが、冷え性などの慢性的な不調を抱えているといわれています。このようなことから、最近は女性と男性の身体や病気のメカニズムの違い、またそれによって生ずる治療法の違いに配慮した「性差医療」といわれる医療が「女性外来」として開設されています。

その診療現場から女性の慢性的な不調に漢方が高い効果を上げていると報告されています。

この本は、女性のライフサイクルに沿って、それぞれの症状に対して漢方薬を用いる場合の基礎知識をわかりやすく解説しており、漢方を詳しく知りたい方におすすめの一冊です。

7月の移動図書館『かんなび号』巡回表

曜日	地区名	駐車場所	巡回時間	巡回日
火曜日	新興戸	新興戸公民館北50m	3:00～3:30	5
	飯岡	飯岡バス停	3:40～4:10	
	山本	山本出荷場精米所前	4:20～4:50	
	水取	水取公民館前	3:00～3:30	12
	普賢寺	普賢寺公民館前	3:40～4:10	
	多々羅	多々羅公民館西側	4:20～4:50	
水曜日	天王	天王バス停前	3:00～3:30	6
	高船	高船農産加工センター前	3:40～4:10	
	打田	打田公民館前	4:20～4:50	
	松井	松井里ケ市公園東50m	3:40～4:10	13
	健康村	健康村公民館前	4:20～4:50	
木曜日	出垣内	三山木幼稚園横	3:00～3:30	7
	江津	江津公民館前	3:40～4:10	
	宮ノ口	宮ノ口白山公園	4:20～4:50	
	南山東	南山公園	3:00～3:30	14
	高木	高木公民館前	3:40～4:10	
	興戸	興戸公民館西200m	4:20～4:50	

お知らせ
★中央図書館・北部分室（北部住民センター内）・中部分室（中部住民センター内）で借りられた本も、移動図書館で返すことができます。
★貸出券は中央図書館・北部分室・中部分室で共通して使えます。
★その場で貸出券をお作りしますのでお気軽にご利用ください。

受診票の送付を中止

日本脳炎予防接種は予防接種法にもとづき行っており、これまで3・4・10・14歳の子どもに日本脳炎予防接種の受診票を送って（接種勧奨）いましたが、今後同票の送付を中止します。

これは、日本脳炎ワクチンの副反応として重症のADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係が認定されたことによるものです。

日本脳炎の流行地へ行く時や蚊に刺されやすい環境にあるなど、感染するおそれが高く、接種を希望する時は、副反応があることについて同意書が必要）での接種となります。

接種は健康推進課に申し込んでください。

申込・問合せ先＝健康推進課（☎64・1334）

都市計画審議会を28日に開きます

市は、都市計画審議会を開きます。同審議会は、傍聴ができます。

日時＝6月28日(火)午後2時から

場所＝市役所全員協議会室

審議内容＝綴喜都市計画下水道の変更について

傍聴方法＝当日午後1時30分までに市役所305会議室で手続きをしてください

定員＝10人。定員を超えたときは抽選します

問合せ先＝都市計画課（☎64・1348）

切替は6月末までに

今年度からの該当者は申請を

福祉医療費受給者証

毎年7月は福祉医療制度（老人・障害・母子）を受けている人の「福祉医療費受給者証」の切替月です。対象者には交付申請書を送りますので必ず6月末までに提出（郵送可）してください。

新しい受給者証は申請書受け付け後、審査して7月下旬に送ります。8月1日からは必ず新しい受給者証で受診してください。

福祉医療のうち老人医療（満65～69歳）は世帯構成や前年の収入額によって「該当」か「非該当」が決まります。申請された時は、その旨を通知します。

福祉医療制度の概要

制度名	対象者	助成内容
老人医療	・65～69歳の人で次のいずれかに該当する人 ①ひとり暮らしの人（所得制限あります） ②満60歳以上の人だけで構成する世帯の人（所得制限あります） ③所得税が課せられていない世帯の人	健康保険で受診した時の自己負担分を一部助成
障害者医療	・身体障害者手帳1級または2級を持っている人 ・療育手帳Aを持っている人 ・療育手帳B（b1）と身体障害者手帳3級を持っている人 ・精神障害者の人で障害基礎年金1級または2級を受けている人	健康保険で受診した時の自己負担分を助成
母子医療	・母子家庭で18歳以下（高校3年卒業まで）の子どもとその母親	

また、今年度から、世帯構成の基準日は申請日となります。負担割合も本人および扶養義務者の課税所得により2割負担となる場合があります。

前年度に該当しなかった人で世帯構成の変動や収入の減少などで今年度は該当すると思われる人は、6月中に高齢介護課で申請してください。

申請に必要なもの＝健康保険証・印かん

申請・問合せ先＝高齢介護課（☎64・1374）

戦没者のご遺族に特別弔慰金を支給

国は、戦没者などの死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日までに公務扶助料や遺族年金などを受ける人がいない場合に、特別弔慰金として額面40万円、10年償還の記名国債を支給します。

対象となるご遺族＝次の順番による先順位のご遺族1人

①弔慰金の受給権者

②戦没者などの子

③戦没者などと生計関係があり、かつ、戦没者などと氏が同じである▼父母▼孫▼祖父母▼兄弟姉妹

④右記③以外の▼父母▼孫▼祖父母▼兄弟姉妹

⑤右記①から④以外の▼孫▼祖父母▼兄弟姉妹

ご遺族で、戦没者などの死亡時まで引き続き1年以上生計関係があった三親等内の親族

受付開始日＝7月1日(金)から

請求方法＝社会福祉課に備え付けの請求書に必要事項を書いて、請求してください

くわしくは、社会福祉課（☎64・1371）へお問い合わせください。

広報紙に掲載の写真さしあげます。ご希望の方は市役所広報広聴課（☎64・1320）へ

クリーンアップ京田辺

市内各地域で一斉清掃

6月5日の、環境の日、を中心とする6月は「環境月間」。本市でも、「クリーンアップ京田辺」と銘打たれ、市と区・自治会などが一体となって市民一斉清掃を行いました。

うるおいのある快適な生活を送れるまちづくりをめざして6月4・5日に市内の各地域で清掃活動が行われました。

朝早くからごみ袋や掃除道具を持った人が集まり班に分かれて出発。公園や駅前などのごみや空きかんを拾い集めたり、雑草を刈り取るなどごみを一掃しました。

今回は、区や自治会など23団体が参加。約36トンのごみや雑草を集めました。

新興戸地区のみなさんが一斉清掃に参加（6月5日）

同大サークルも清掃活動に参加

同志社大学のサークル「e-cycle」が、6月4日普賢寺川河川敷周辺の清掃を行いました。同サークル員15人が4班編成で参加。ごみの分別に注意しながら4時間をかけ、燃えるごみなど56袋と自転車などの粗大ごみを回収しました。

「e-cycle」とは、循環型社会を目指して研究や活動をしているサークル。「自分たちのできることからはじめたい」と今回、清掃活動に取り組まれました。同サークル会長の江見智彦さんは、「多くの人に環境問題に関心をもってもらいたい、また市民のみなさんや大学とコミュニケーションをはかっていきたい」話していました。

ＪＲ同志社前駅を掃除する参加者のみなさん（6月4日）

一緒に〝たなべ坂〟を清掃

きゅうたなべ倶楽部シュタイナー学校

「一緒に〝たなべ坂〟をきれいにしませんか？」を合言葉に「NPOきゅうたなべ倶楽部」と「京田辺シュタイナー学校」が合同で、ＪＲ同志社前駅から同志社大学までの坂を清掃。

参加した約35人の中には子どもたちの姿も多く、「こういう姿を見れば、学生たちがごみを捨てづらくなる。また、これが環境問題を考えるきっかけになれば」と坂を行ったりきたりするなどごみ拾いに汗を流しました。

「就職力☆パワーアップ講座」開く

府は、若年者向けに厚生労働省認定のＹＥＳプログラムを取り入れた就職講座を開きます。

開催日＝7月12日㈫～20日㈬
時間＝午前9時30分～午後4時30分
場所＝商工会館
対象＝受講開始日時点で35歳未満の人
内容＝重点取得コース（コミュニケーション能力やビジネスマナーの修得、就職活動練習など）
定員＝20人
参加費＝無料
しめきり＝7月7日㈭
申込先＝公共職業安定所または府若年者就業支援センター
問合せ先＝府能力開発課（☎075・414・5103）

知事と意見交換しませんか

府は、『明日の京都・山城を語る～「人・間・中心」の京都づくり～』をテーマに知事と和い和いミーティングを開きます。

日時＝6月26日㈰午後2時～4時
場所＝久御山町ふれあい交流館
申込・問合せ先＝氏名・住所・電話番号を書いてはがきかファクスで山城広域振興局企画振興室（〒611・0021宇治市宇治若森7・6、☎21・2049、FAX22・8865）へ

京田辺国際交流協会　インド家庭料理で交流

京田辺国際交流協会は、国際交流ふれあいお料理プラザを開きます。

今回は、インドから来日し奈良在住のカルナさんを迎え、インド家庭料理を教えていただきます。

日時＝7月26日㈫午前10時から
場所＝中央公民館
内容＝インド家庭料理教室とインドの話を聞きながら交流
定員＝先着25人
参加費＝無料
持ち物＝エプロン・ふきん
受付開始＝6月27日㈪から

昨年7月18日開催のタイ料理教室に参加した人は応募できません。

申込・問合せ先＝秘書室（☎64・1322）

7月9日・10日にスポーツフェスタ

中部住民センターまつり実行委員会は、「せせらぎスポーツフェスタ」を開きます。

日時＝7月9日㈯・10日㈰午前10時から
場所＝中部住民センター
内容＝▼室内スポーツ体験▼三分間体力測定▼模擬店（10日のみ）▼流しそうめん体験▼白バイ試乗体験▼フリーマーケット▼ビンゴゲーム大会▼こども映画会▼サークル発表

当日は混雑が予想され駐車場にも限りがあるので、公共機関や徒歩などでご来場ください。

問合せ先＝中部住民センターまつり実行委員会（同センター内、☎64・8810）

音楽祭　出演者を募集　合同合唱の参加者も

文化協会などは、市民音楽祭の出演者を募集します。

日時＝10月16日㈰午後0時30分
場所＝同志社女子大学新島記念講堂
種目＝▼合唱▼合奏▼軽音楽▼オーケストラ
対象者＝市内で活動する音楽団体・サークル
しめきり＝7月16日㈯

また、20回を記念して行う市民による合同合唱の参加者も募集します。

曲目＝「大地讃頌」他
練習日＝8月21日・9月4日・11日・25日・10月9日いずれも日曜日
しめきり＝7月9日㈯
参加費（1人）＝▼一般…千円▼学生…500円
申込方法＝中央公民館に備え付けの申込用紙に必要事項を書いて、申し込んでください
申込・問合せ先＝▼文化協会（☎62・2552）▼音楽連盟会長　奥村（☎63・3681）

あさがお展作品募集

文化協会などは、あさがお展の出品者を募集します。

日時＝8月7日㈰午前9時～午後1時
場所＝中央公民館
募集内容＝▼大輪▼花容▼あんどんづくりなど
しめきり＝8月2日㈫
申込・問合せ先＝中央公民館（☎62・2552）

専門家を迎え開く　思春期の子どもを持つ人へ

子育てセミナー

教育委員会は、思春期の子育てセミナーを開きます。

このセミナーは、思春期の動向などについて学び、思春期の子どもの接し方や悩み・不安を持った親などがその対処方法などを学ぶことで、家族の絆を深めようと開くものです。

【第1回】
日時＝7月9日㈯午後1時30分～3時30分
場所＝北部住民センター
テーマ＝「子どもの自己信頼感を支える家族の役割」
講師＝京都府立大学助教授の服部啓子さん

保育を希望する人は、7月1日㈮までに申し込んでください。

【第2回】
日時＝7月16日㈯午後1時30分～3時30分
場所＝中央公民館
テーマ＝「子どもは大人をどう見ているか―子どもの心と親の心―」
講師＝京都府立大学教授の宮嶋邦明さん

保育を希望する人は、7月8日㈮までに申し込んでください。

【第3回】
日時＝7月23日㈯午後1時30分～3時30分
場所＝中部住民センター
テーマ＝「食卓が結ぶ家族の絆」
講師＝京都府立大学助教授の大谷貴美子さん

保育を希望する人は、7月15日㈫までに申し込んでください。

【定員】
60人（参加申込不要）

【問合せ先】
社会教育課（☎64・1393）